

**岐阜県立本巣松陽高等学校創立百周年記念事業実行委員会
第6回 委員長会 会議録**

岐阜県立本巣松陽高等学校
創立百周年記念事業実行委員会

日 時 令和3年3月27日(土) 午後1時00分～2時10分

場 所 岐阜県立本巣松陽高等学校 银杏館 1階 大会議室

構成員 12名
組織図参照
事務局 9名(兼務5人を含む)
組織図参照

出席者 11名(事務局を除く)
実行委員長 川瀬 善忠
実行副委員長 本田 修也 大矢 晋
総務委員会 遠山 信義
広報委員会 河野 秀明
事業委員会 小川 裕幸
式典委員会 松岡 太郎(副委員長)
記念誌委員会 西尾 侑一
名簿発行委員会 天野 知子
財務委員会 汲田 雅司
事務局 1名(兼務を除く)
事務局 柏木 典子 西尾 侑一(兼務)
委員長が必要と認める者

1 実行委員長挨拶 (川瀬実行委員長)

資料は1枚。冊子1頁。レジュメの通り。「1 コロナ禍の中での記念事業」にある記念設計費を、3,672,000円に訂正。

2 実行副委員長挨拶 (大矢実行副委員長)

資料はなし。まもなく定年退職を迎える。これにより、教育から身を引く。浅野教頭も定年退職を迎えるが、再任用で岐阜高等学校教諭を務める。退職後も、創立百周年記念事業の成功を応援している。

3 議事

(1) 総務委員会 (遠山委員長)

資料はなし。この1年間、活動できていなかったのも、これから動き出すところである。感謝状贈呈者への記念品について、飛騨春慶塗や銘々皿等も検討したが、今日非実用的なものは贈らないようなので、何か実用的なものを贈呈したい。個人案として、電気ケトルを考えている。単価は7,000円前後とみている。見積もりをとっている最中なので、また検討していきたい。

提案及び報告事項は、最終的に異議なく承認された。

(2) 広報委員会 (河野秀明委員長)

資料はなし。記念式典ならびに祝賀会の延期に伴い、10月16日掲載予定の岐阜新聞協賛広告第2弾について再検討しなくてはならない。費用としては、謝礼等の若干の支出が予想される。また、一行詩の作品については、記念誌に掲載予定である。

提案及び報告事項に、最終的に異議はなかった。

(3) 事業委員会 (小川裕幸委員長)

資料はなし。正門周辺整備事業が完了したので、何かすべきことがあれば協力していきたい。
提案及び報告事項は、最終的に異議なく承認された。

(4) 式典委員会 (松岡副委員長)

資料はなし。コロナ禍で、ホテルは大打撃を受けている。祝賀会の実施については、まだ何とも言えない状況なので、今後の様子を見ながら検討していきたい。

提案及び報告事項は、最終的に異議なく承認された。

(5) 記念誌委員会 (西尾委員長)

資料はなし。本来ならば、過去の記念誌発行以降の内容を詳しくまとめるべきだが、この約20年間はそこまで記事が多くなかったことと、発行まで1年間の猶予ができたので、過去の記念誌を読み解き、通史で編集している。現在、約20年間の資料と岐陽高等学校の歴史を編集している。頁数が400頁前後に達しており、予算面で心配だが、部分的にモノクロにするなどして何とかしていきたい。

提案及び報告事項に、最終的に異議はなかった。

(6) 名簿発行委員会 (天野委員長)

資料はなし。コロナ禍でクラス会も行われていないが、名簿頒布希望者には、適宜頒布元を案内している。

提案及び報告事項は、最終的に異議なく承認された。

(7) 財務委員会 (汲田委員長)

資料は12枚。冊子2～13頁。4点。

名古屋国税局への寄附金募集結果の報告について、3頁に提出した決算書があるが、当初、事業費を上回った寄附金の残額は没収予定だったため、趣意書の印刷発行費もそれに関わる経費として組み込んだ。

13頁の決算予想について。令和3年度分のPTA協力金は繰り入れられるのかどうか確認してほしいという意見があった。

令和3年度入学生分のマフラータオルの追加分も組み込まないといけませんが、今は見積もりを依頼している段階である。記念事業費の記念行事費にある編曲料は、名古屋フィルハーモニー交響楽団との約束ですでに先払いした。なお、コロナの深刻化によってキャンセルすることになった場合、16頁の資料の右端にある通り、その期限とキャンセル料金が発生する。この期限を念頭に置いた上で、新年度に学校側で判断したい。

記念式典費の記念品費に、総務委員会で話の合った特別記念品の費用として約41万円を追加してほしいとの意見があった。

記念事業費の実施設計・工事費に、安全祈願祭や竣工式の費用が含まれているが、これは新たに科目を起こして「雑費」としてほしいとの意見があった。

門扉の裏側の見栄えを良くする対策と銘板の設置について検討願いたいとの意見があった。

委員会の提案及び報告事項は、異議なく承認された。

4 コロナ対応の現状を踏まえた各行事の検討について (西尾事務局員)

資料は3枚。冊子15～17頁。コロナ禍の現状を踏まえて、事務局の意見として提示した。

実行委員長から、各行事については、4月末に決断すること、式典だけはどのような形態であれ何とか実施したいという思い、祝賀会に対する同窓会当番学年の思いを尊重する必要があると話があった。また、今回は4月末に委員長会を開き、可能ならば5月GW明けに実行委員会を開催する方向で進めたいとの話があった。

以上

令和3年3月29日
事務局 西尾 侑一